

海遊び安全講座実施報告書

平成 27 年 2 月 5 日

報告者 ほっかいどう海の学校 平野真稔

イベント名：スノーケリング de 海の学校 (in しゃこたん)

開催日：平成 26 年 7 月 28 日 (月)、8 月 1 日 (金) ～3 日 (日)、9 月 13 日 (土) 計 5 日間

天候：晴れ

開催地：積丹町美国町

対象：積丹町および周辺の小学 4 年生から中学 3 年生まで

参加人数：93 名

指導者名：平野真稔、大塚英治

使用教材：C N A C 海遊び安全講座冊子

実施内容と所感：テーマ「豊かな海辺の観察をスノーケリングで学ぶ」

○主な内容

- ・海遊び安全講座冊子を紙芝居で紹介し、1 日の体験内容と安全をふりかえる
- ・ラッコ浮きの体験
- ・スノーケリングと藻場観察

○所感

平成 18 年より継続して開催している本事業において、自ら身を守るための安全教育を本冊子に基づいて実施した。

初回 (7 月 28 日) は北海道内陸部の沼田町教育委員会主催のキャンプが当地で開催されたのに合わせて本プログラムを提供し、日ごろ海と親しむことが少ない地域の子供たちにもわかりやすく海遊びの楽しさと安全技術が学ぶことができた。

8 月および 9 月の開催では地元の子供たちを中心とした参加となったが、海水浴はするものの安全に対する教育機会は少ないとのこと。保護者の方々にも一緒に紙芝居を見ていただくことができ、安全へ対する考え方も含めて啓発ができたと感じている。

体験イベント終了後には冊子をプレゼントし、家庭内において海遊びの安全についてふりかえりができるようお願いして解散した。



ラッコ浮きの練習



紙芝居を使って 1 日の体験をふりかえり

イベント名：小樽海っ子番屋 磯遊びとウニ・タコの食育体験

開催日：平成26年7月12日（土） 計1日間

天候：晴れ

開催地：小樽市祝津

対象：小樽市および周辺の親子（幼児～成人）

参加人数：42名

指導者名：平野真穂、大塚英治

使用教材：CNAC海遊び安全講座冊子

実施内容と所感

○主な内容

- ・海遊び安全講座冊子を紙芝居で紹介し、1日の体験内容と安全をふりかえる
- ・PFDの着用方法
- ・ウニ・タコのタッチプール
- ・漁師めし作り

○所感

小樽市漁協、東海大学、小樽観光協会、NPO法人おたる祝津たなげ会で構成する活動組織「小樽海っ子倶楽部」主催の「小樽海っ子番屋」へ、本プログラムの提供を行った。

小樽海っ子番屋は、漁村振興を目的に海の体験活動を実施する活動である。海辺の活動ではPDFの普及は未だ進んでおらず、参加者へPDFの使い方を説明し、海辺の環境の違いによる危険性について紙芝居を用いて説明した。

当日はほっかいどう海の学校（2名）の他、小樽ライフセービングクラブと東海大学生ボランティアが安全管理スタッフとして参加しており、プログラム終了後に関係者への説明を行い、安全管理技術の向上と普及に務めた。

地域が主体となって行われる活動は、野外体験活動の専門団体が行うものと比べ、安全管理が弱く、本プログラムを通じて安全対策の底上げができたものと考えている。今後、体験活動の範囲や実施組織が広がりを見せていく中で、外部組織と連携して技術を補い合うことでプログラム全体の質が向上することが大切である。



PFDを着用してビーチコーミング



ニシン番屋でのディスカッション